



穀物を原料にした歯ブラシ

18期 玉置優

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

2021年6月「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が成立

プラスチック使用製品の設計からプラスチック使用製品廃棄物の処理まで、プラスチックのライフサイクルに関わるあらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取組を促進するための措置が盛り込まれている

大きく分けて3つの段階

①設計・製造段階(環境配慮製品を増やす)

プラスチック製品の環境配慮設計に関する指針が示され、環境に配慮した製品を、消費者が選択しやすい社会

②販売・提供段階(使用量を減らす)

ワンウェイのプラスチックの使用量を減らすため、カトラリー類やアメニティ類などの使用の合理化

③排出・回収・リサイクル段階(リサイクル量を増やす)

製造事業者や販売事業者等によるプラスチック製品を回収する取組が広がり、再生プラスチックを利用した製品が増えていきます。

穀物を原料にした歯ブラシ

- ・このハブラシにはもみ殻を約 35%配合し、0.04mmの薄手フィルムを使用して、CO2排出を抑制した、環境にやさしいアメニティ
- ・環境省が推進するプラスチックスマートに参加(詳細は後述)



穀物を原料にした歯ブラシ

- ・植物原料のバイオマス素材を使用

植物原料バイオマス樹脂とは・・・

稲、小麦、トウモロコシら世界三大穀物で不要になったもみ殻や麦藁などの植物原料をポリプロピレンに配合した環境にやさしいバイオマス樹脂

〈メリット〉

- ・穀物は世界各地で、毎年安定供給可能
- ・殻や藁部分は廃棄物で、人々の食料供給に影響しない
- ・樹脂との相性が良く樹脂の特性を活せる素材
- ・植物原料(食用品)なので安全性が確保されやすい

値段比較(アスクールにて比較)



プラスチック使い捨て歯ブラシ
¥4975(税込) / 250本
≒19.9円/本



エコ歯ブラシ
¥11988(税込) / 250本
≒47.95円/本

約2.4倍

参考：プラスチックスマート

環境省が、正しい処理やリサイクル方法を広め、バイオマスプラスチックや代替素材などの理解を推進している取り組み

海に放出されているプラスチックごみなど、プラスチックごみの焼却による大気汚染、流出による海洋汚染、生態系への影響を減らしていくため活動

<https://plastics-smart.env.go.jp/>